



住みよいきれいな町へ

美しい景観のきれいな深浦を維持して、住みよい地域にしようと毎年行っている沿道美化清掃が町内全域で実施されました。自治会や老人クラブなど約2,400人が参加し、道路沿いや海岸のゴミ拾いを行いました。今後もきれいになった町の景観を守っていくために、町民のみなさんが「ごみのポイ捨てしない」意識を持って生活しましょう。

4/17

深浦サーモン水揚げ

4/24

大規模サーモン養殖事業に取り組む日本サーモンファーム（株）が、深浦港で「日本海深浦サーモン」の水揚げを行いました。ふ化から中間養殖、海面養殖まで町内での一貫生産体制で成長したサーモンを、この日は町内の漁業関係者約30人が集まり、大きなタモ網で約6,500匹を次々と水揚げしました。今年は深浦漁協及び新深浦漁協と連携しながら計約170トンが水揚げされる予定で、水揚げ後は全国各地に出荷され、深浦産サーモンを味わっていただきます。



追良瀬牧場で放牧

4/25

畜産農家の省力化と繁殖牛の飼育コスト削減を目的とした放牧が、追良瀬牧場で始まりました。追良瀬牧場では、えさとなる草を求めて広い草地を歩き回ること、健康で病気に強い丈夫な牛を育てようと、春から秋までの期間中、牧草地に放牧する「夏山冬里方式」で繁殖牛を育てています。町内7戸の畜産農家から、親牛46頭、子牛12頭合わせて58頭が牧場に集合。個体確認を終えた牛たちは、柵が開けると勢いよく走りだし、草地を元気に駆け回りました。

保健協力員総会及び研修会が開催されました

4/26

町保健協力員の総会及び研修会が役場文化ホールで開催されました。総会には新たに保健協力員となった方を含め76人が参加し、勤続20年以上の功労者の方に町長から感謝状が手渡されました。その他、新任の保険協力員への委嘱状の交付や昨年度の事業報告と今年度の事業計画（案）等が審議され、すべて承認されました。続いて行われた研修会では、青森県立中央病院から講師の先生にお越しいただき、健康を維持するため運動の大切さを改めて学ぶとともに、実際に講師の先生の指導の下、参加した全員で軽い体操を体験しました。



みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。
深浦町総合戦略課 企画調整係
電話 74-2122

まちかど ウォッチング

ドキドキ、わくわくの新生活

4/7

町内の小中学校の入学式が一斉に行われ、小学校25人、中学校42人の児童生徒が新たな学校生活をスタートさせました。このうち、深浦小学校には男子9人、女子7人が入学。新入生16人が「1年生になったら」を元気に大きな声で歌いました。入学式の後、これから自分たちの生活する教室で担任の先生のお話を聞き、最後は元気に「さようなら」のあいさつをして、これからの学校生活への期待に胸を膨らませながら笑顔で帰宅しました。



復興支援募金が寄贈されました

4/11

JTB青森支店園田支店長が吉田町長に復興支援募金を寄贈しました。これは、昨年8月の豪雨被害に遭った西海岸エリア（深浦町・鱒ヶ沢町）の観光業の復興支援を目的に、同11月に弘前市内で復興支援イベントを開催した際、県内4か所に募金箱を設置し広く復興支援を呼びかけたものです。寄贈された募金は町の災害復興、観光復興に有効活用させていただきます。

大きくなって帰ってきてね

4/13

サクラマス幼魚とサケ稚魚の放流式が、4年ぶりに追良瀬親水公園で行われました。放流式には、関係者のほか、みよし保育園児や深浦小学校3年生、修道小学校3年生など約60人が参加。当日はサクラマス幼魚200尾とサケ稚魚10万尾を追良瀬川に放流しました。参加した園児や児童たちはバケツの中を泳ぐ稚魚に「元気だね」「帰ってきてね」などと声をかけ、川へ送り出しました。子供たちは、自分が放流した稚魚たちが無事に川を泳いでいくところを見送っていました。

